

「軍医大尉桑島恕一の悲劇」 出版記念講演会

長井発展の礎を築いた元長井町町長

父 桑島忠一



東芝長井工場や日本飛行機などの大企業を長井町に誘致し 3000 人以上の雇用を創出。米と養蚕に頼る長井西置賜地区の経済の活性化に大きく貢献し長井西置賜発展の基礎を造る。ところが戦後は一転して公職追放と長男恕一の絞首刑によって悲劇のドン底に突き落とされる。恕一への手紙に見られる父親としての覚悟には心が動かされる。

講話 小林幸雄 氏 長井市中央史談会会長・元長井小学校校長



戦争の悲劇 仁術の軍医大尉 桑島恕一

奉天捕虜収容所の捕虜に対して献身的に治療にあたり、米英捕虜から感謝状を贈られたにも関わらず、虚偽の証言により敗戦後 B C 級裁判で絞首刑となる。



講師

くどうみちひろ
工藤美知尋氏

1947年 長井市生まれ
青山IGC学院代表
日本海軍戦史戦略研究所長
日本ウェルネススポーツ大学教授

プロフィール

1966 年山形県立長井高校卒。1970 年日本大学法学部卒。1972 年修士課程修了。1972~1974 年オーストリア・ウィーン大学留学。1979 年東海大学大学院政治学研究科博士課程修了。政治学博士 日本大学法学部助手、専任講師。1992 年社会人入試、大学院入試の為の本格的予備校青山 IGC 学院を主宰。大学院予備校の先駆者として多くの著作を手掛ける。また日本海軍の研究者としても著名で日本海軍史に関する著書多数。2014 年 8 月 NHKスペシャル「山本五十六・戦後 70 年目の真実」TV 出演

日時：5月28(土)

午後2時半開場 3時開演～4時30分

場所：タスパークホテル

2F



整理券は主催、共催、後援団体までお問い合わせください。

主催：『軍医大尉桑島恕一の悲劇—われ上海刑場の露となりしか』(光人社) 出版記念講演会発起人会 (事務局 0238-84-4121)

共催：長井高校鷹桜同窓会、長井中同級生みどり会、長井高同級生41会、潮書房光人社

後援：長井市、長井市教育委員会、長井市立図書館、長井商工会議所、長井銀行会、長井ロータリークラブ

長井ライオンズクラブ、長井中央ロータリークラブ、長井青年会議所、国際ソロプロチミスト長井、長井市倫理法人会
長井市中央史談会、山形新聞・山形放送、おらんだラジオ、八文字屋長井店

【講演者からのメッセージ】

先の大戦で日本は3百万人もの犠牲者を出し敗北しました。多くの日本人兵士が戦陣に斃れ、夫婦・家族は離散するという悲劇に見舞われましたが、こうした中にあって最も哀れをとどめたのが、全くの冤罪だったにもかかわらずB C級裁判によって処刑された人間でした。そうした一人に長井町出身の軍医大尉桑島恕一がいます。恕一は旧制長井中学を卒業後、東京医専に入学し、軍医となり、中国の奉天捕虜収容所に勤務することになりました。昭和20年末、恕一は家族が待つ長井町の実家に帰還しましたが、翌年5月初めGHQによって捕虜虐待の廉で逮捕され、上海に送られた末、かの地に設けられた米軍裁判において絞首刑に処せられたのです。

私がこの裁判記録を詳細に調べた結果、完全な冤罪であることがわかりました。また戦前長井小学校長を勤めたのち、長井町町長として東芝電気や日本飛行機を始め幾つかの企業誘致を成功させ長井町の発展に寄与したのは、恕一の父親である桑島忠一でした。長井町にあっては当時最高の教養人であり文化人でした。

ところが終戦直後忠一は公職追放にあうと共に、長男は戦犯として処刑されるという悲劇に見舞われたのです。

桑島忠一と恕一父子は、戦後70年経ち我々の記憶から完全に忘れ去られてしまいました。

今われわれは忠一と恕一の父子に深く想いを馳せることによって、この二人に心からの哀悼を捧げるとともに、平和の尊さを噛みしめるべきだと考えます。

工藤 美智尋

『軍医大尉 桑島恕一の悲劇

—われ上海刑場の露となりしか』

潮書房光人社

5月7日発売

税込 1,944円
定価（本体 1,800円 + 税 144円）

5月28日 会場にて著者署名入りの本を出張販売致します。

八文字屋 長井店 Tel 83-1320